

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高野地域協議体 なんすかんすつながる会			代表者名	草谷 洋
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	下高自治振興区	連絡先電話番号	0824-86-2679
担当者役職	事務局長	担当者氏名	草谷 洋	連絡先E-mail	
住所	727-0423 広島県庄原市高野町下門田8				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	庄原市	連絡先部署	庄原市役所高野支所		
担当者氏名	小谷 美江	連絡先電話番号	0824-86-2115	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名（予定）	生活支援体制整備事業		
概要	高野地域の生活交通に関して、住民との協議や住民アンケートの分析結果から、地域の特性に合った移動支援を検討し、地域での取り組みを実施する。また、交通を軸にしたマーケティングによる地域内経済循環の仕組みを構築し、地域事業者の所得向上や地域活性化、暮らしやすさの向上を図る。移動支援やマーケティング、経済循環の手法等に対するICT技術の利用について助言をいただきたい。				
支援を求める分野	計画策定支援 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） デジタルデバйд対策 地域ビジネス ICT活用広報				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	250K	令和6年12月12日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年11月22日	事前打合せ(実地)	16時00分	17時45分	
				活動時間（分）	105
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	福島 健一郎
評価	大変よい

上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	10人	
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3	1	6

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少に伴う事業所の存続・高齢者、子ども等移動弱者の町内、町外への移動手段（不便である） 移動が難しい高齢者への食、日用品、日常生活（草刈り、雪下ろし、電球取替）等へのサポート 高齢者の生きがいの創設（集まりの場の強化） モビリティに係る課題について、ICT技術を導入し、利便性を向上していくことで、新たな移動支援や住民の困りごとへの仕組みづくりが課題解決に効果的であると感じている。
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	1.おでかけわごんの予約システム（個人予約、集まりの場代表者による団体予約）の構築 2.地域のコンビニと連携した買い物支援システムの構築 ・休憩場所や集まりの場への移動販売車の配車予約等 3.おでかけわごんの制度や、バスを待つための町内中心部休憩場所、おでかけわごん帰り便代行予約事業所の周知、おでかけわごん利用で参加できる行事の啓発等情報提供を行うHP等の作成。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	先ずは、事業概要を説明させていただき、課題や今後の取り組みをご理解いただいたうえで、なぜ上記成果を求めるのかを理解していただいた。 その中で1.については具体的に事例を提示しアドバイスを頂いた。2.については、材料の提示が必要であるため、今後しっかり打ち合わせを行い地域の現状に応じた方法で実行していく。3.については、3つの事例を頂いた、協議体の中で吟味選定を行い、方向性を固めたうえで、次回アドバイスをいただく。 2回目は、ワークショップ形式で高野町内の様々な方のご意見をもらい、この町の方向性を定め、方向性に合った提案を受ける予定。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	1.については具体的に事例を提示しアドバイスを頂いた 一つ目は、現在の予約ツールのGoogleフォームの改善 二つ目は庄原市も導入しているキントーンでのアプリ作成 二つ目については、管理権限が庄原市にあり、事業者には住民予約された情報が管理出来ないため、アプリ作成は難しいのではないかと担当課の返答であったが内部協議を行ってみるとのことです。ただし、毎月の事業報告はキントーン集計で行うことが出来ることも分かった。 3.については、3つの事例を頂いた協議体の中で吟味選定を行い、方向性を固めまた次回アドバイスをいただく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 上記内容について、次の派遣までに協議体で具体的に検討を行い、成果として形にできればと考える。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	2.地域のコンビニと連携した買い物支援システムの構築 ・休憩場所や集まりの場への移動販売車の配車予約等 2.については、材料の提示が必要であるため、今後福島先生と打ち合わせを行い地域の現状に応じた方法で実行していく。協議体としても必要な材料を事業者と調整しスピーディに物事が進むよう調整していく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は事前打ち合わせでありアンケートは実施していないが、参加した協議体メンバーの意見としては、ICT技術の導入を行うことで地域が変わっていくことへの期待や課題解決へ向けてのチャレンジの向上に繋がった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 上記課題を達成するためどんなツールを導入していくかこれから検討していく、必要な経費があれば具体的に積算し、来年度予算化を図っていきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	ICT技術を活用できるものは取り入れていくことで利便性が向上し、地域の経済循環が高まること、住民の暮らしがさらに豊かになるよう生活支援体制を築いていく。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

